

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価 責任 者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

政策	3 来訪者が再び訪れたいとなる受入態勢づくりを推進します
----	------------------------------

施策	1 来訪者の満足度を高める受入環境の充実
----	----------------------

施策の 目的	観光施設の改修やWi-fi環境の整備など、観光客の受入環境を整備することにより、来訪者の満足度を高め、再び訪れたいとなる受入体制の構築を推進します。
-----------	--

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	各施策を計画的に実施し、目標値を上回る成果を得られたため。
	令和2 年度	—	理由	緊急事態宣言の発令など新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。
	令和3 年度	—	理由	緊急事態宣言の発令など新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。
	令和4 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	滞在中に不便なことや不満なことが無かった来訪者の割合	88.6%	1	89.1%	88.8%	99.7%	a	
2			89.6%	—	—	—		
3			90.1%	—	—	—		
4			90.6%	—	—	—		
			1					
			2					
			3					
			4					
指標 成果 以外の の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
① 観光施設リニューアル事業	・ 由比本陣施設公衆便所改修工事 (R2) ・ 清水港船宿記念館・坐漁荘記念館改修工事実施設計 (R4)	1	1	8,700	0	8,620	0.4	0.0	0.0	○
			2	7,400	0	6,075	0.2	0.0	0.0	
			3	2,549	0	2,497	0.4	0.0	0.0	
			4	3,300	0	2,565	0.4	0.0	0.0	
② 観光トイレ整備事業	・ 丸子誓願寺観光トイレ改修工事 (R2) ・ 大内駐車場観光トイレ改修工事 (R2) ・ 用宗駅前観光トイレ改修実施設計 (R2) ・ 用宗駅前観光トイレ改修工事 (R4)	1	1	5,500	0	2,268	0.2	0.0	0.0	○
			2	20,700	0	15,201	0.4	0.0	0.0	
			3	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
			4	15,400	0	13,937	0.2	0.0	0.0	
③ 観光自転車ネットワーク事業	・ 静岡市観光自転車ネットワーク協議会運営支援 (事務局：(公財)するが企画観光局)	1	1	0	0	0	0.1	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.1	0.0	0.0	
			3	0	0	0	0.1	0.0	0.0	
			4	0	0	0	0.1	0.0	0.0	
④ 市内看板多言語改修事業	・ 観光案内サイン (誘導看板) 設置状況調査及び多言語化整備 ・ 既存観光案内看板の多言語化改修	1	1	5,800	0	2,779	0.8	0.0	0.0	○
			2	4,804	0	3,228	0.8	0.0	0.0	
			3	5,215	0	2,809	0.8	0.0	0.0	
			4	2,059	0	2,058	0.8	0.0	0.0	
⑤ おもてなし人材の育成	・ 静岡シズンカレッジにおける観光ボランティアガイド等養成講座	1	1	728	0	307	0.5	0.0	0.0	○
			2	472	0	88	0.5	0.0	0.0	
			3	550	—	527	0.5	0.0	0.0	
			4	539	0	539	0.5	0.0	0.0	
⑥ 日本平動物園新ゾウ舎建設事業	—	—	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	—
			2	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
			3	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
			4	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
⑦ 「見方が違う動物園」NEWデザインプロジェクト	・ 「山頂Day Camp Fes.」開催 (春の動物園まつり内) のためのグランピング用オリジナルテント等の製作。 ※R1.3.20~22、28、29開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止。	—	1	3,000	0	2,207	0.5	0.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑧ 日本平動物園開園50周年記念事業	・ 新キャラクター「レッパーくん」の着ぐるみ制作 ・ 記念動物としてカピバラ4頭を導入し、獣舎の一部をカピバラ舎に改修 ・ 開園記念式典や50周年特別企画展などの特別イベント開催 ・ 飼育環境改善のため「国際エンリッチメント会議」に参加 など	—	1	47,500	0	47,064	2.0	1.0	0.0	—
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
⑨ 井川湖渡船船舶及び待合所更改事業	・ 渡船 (第二聖丸) の更新 ・ 渡船待合所の更新	1	1	41,500	0	0	0.3	0.0	0.0	○
			2	0	28,627	28,627	0.3	0.0	0.0	
			3	34,162	0	17,607	0.3	0.0	0.0	
			4	12,000	15,143	25,789	0.3	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画より実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

①②保守点検を通じて施設及び設備の劣化状況を把握し、優先度を判断しながら順次利用環境向上に向けた整備を推進する。
 ④日本遺産や夜景観光等の事業との連携及び周遊促進を意識し、エリアごとの観光看板設置状況を把握して計画的に更新又は新設を進める。
 ⑤新型コロナウイルス感染症の影響 (緊急事態宣言の発出等) により集団での研修等密になる行動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。今後については、コロナによる制限も緩和されコロナ禍前以上に発展するとされる観光産業において、おもてなし (ガイド) 人材の育成は、必要となる事業であるため、引き続き推進していく。
 ⑥～⑧動物園開園100周年に向けて、これまで取り組んできた動物園の4つの役割 (種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーション) に加え、新たに「動物福祉の向上」を基軸とした「日本平動物園将来構想」を策定します。
 ⑨地域住民や関係企業と連携し、渡船と地域資源を組み合わせたいイベントを開催するとともに、SNS等を活用した新たな情報発信を行い、渡船シンボルマークの普及を図ることで、井川湖渡船の認知度を向上させ、乗船者数の増加につなげていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価 責任 者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

政策	3 来訪者が再び訪れたいとなる受入態勢づくりを推進します
----	------------------------------

施策	2 来訪者に安らぎを与えるおもてなしの向上
----	-----------------------

施策の 目的	地域の人々との交流や体験を通じ、静岡ならではのおもてなしにより、来訪者のすべてが「来てよかった」「また来たい」と喜びを感じるまちの実現を目指すため、オール静岡によるおもてなしの向上を図っていきます。
-----------	---

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	成果指標の達成率はa評価であったものの、現状値を下回る成果となったことから総合評価はB評価とした。
	令和2 年度	—	理由	緊急事態宣言の発令など新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。
	令和3 年度	—	理由	緊急事態宣言の発令など新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。
	令和4 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による宿泊事業者への影響を考慮して、市内宿泊者への調査を実施しなかったため評価することができない。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	滞在中に癒しや安らぎを感じたり、リフレッシュできた来訪者の割合	1	79.2%	1	80.2%	76.9%	95.9%	
2		2		81.2%	—	—	—	
3		3		82.2%	—	—	—	
4		4		83.2%	—	—	—	
指標 成果 以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①静岡型体験観光推進事業	・体験型教育旅行のプログラム作成 ・体験型教育旅行の誘致活動	1	1	3,929	0	3,929	0.1	0.1	0.0	○
			2	3,929	0	3,929	0.1	0.1	0.0	
			3	3,929	0	3,929	0.1	0.1	0.0	
			4	3,929	0	3,929	0.1	0.1	0.0	
②伝統芸能振興事業	・芸妓芸能振興事業補助金の交付	1	1	6,000	0	4,218	0.1	0.2	0.0	○
			2	6,000	0	5,422	0.1	0.2	0.0	
			3	6,000	0	2,856	0.1	0.2	0.0	
			4	6,000	0	6,000	0.1	0.2	0.0	
③文化体験プログラム推進事業	・文化体験プログラムを旅行商品として提供できる体制の構築 ・するが企画観光局ホームページの改修に係る補助金の交付 (R1事業実施・完了)	1	1	1,600	0	1,489	0.1	0.0	0.0	-
			2	-	-	-	-	-	-	
			3	-	-	-	-	-	-	
			4	-	-	-	-	-	-	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、-：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に増えていた教育旅行に関しては、そのほとんどが元の首都圏方面へ戻るため、ターゲットエリア及びプロモーション方法、新しいプログラムの開発に関して関係各所と検討し、誘致を進める。
②芸妓文化を観光資源として幅広く利用していただき、本市の伝統芸能である芸妓芸能事業の認知拡大と振興を図ることを目的とし、新規団体および昨年度利用のない団体に対する人数要件を緩和する。